

正会員各位

昭和 50 年度役員の選挙について

前号で予告のとおり、定款第 20 条にもとづき、昭和 50 年度の役員（会長，副会長，理事，監事）の選挙を行ないます。下記要領により、正会員各位もれなく、必ず別添の投票用紙（受取人払い）にてご投票ください。

なお、5 月に開催予定の第 13 回通常総会において、役員の定員増加について定款の変更を付議することを予定しておりますので、増員（理事 2 名，監事 1 名）をお含みのうえ、ご選出願います。

記

1. 投票の資格

投票権者は定款にもとづき、**正会員のみ**となっております。学生会員および賛助会員は、投票権がありませんので、投票用紙を添付してありません。

2. 投票の方法

- 2.1 投票用紙の選定欄に○印をおつけください。なお、理事会推薦候補以外の会員の方（正会員に限る）を選定される場合には、その氏名と勤務先を所定の空欄にご記入ください。
- 2.2 会長は 1 名の信任，副会長は 1 名の単記，理事は研究・教育関係 2 名以内，製造・販売関係 2 名以内，利用関係 3 名以内，合計 7 名以内の連記，ならびに監事は 1 名の単記とし，これをこえた場合には無効といたします。

3. 投票の締切

昭和 50 年 4 月 10 日（木）付の郵便消印があるものまでを有効といたします。

4. 候補者氏名（理事会推薦，五十音順）

下記の候補者は，本学会理事会にて推薦するものです。

役職名	氏 名	年 齢 50年 3 月 末現在	勤 務 先
会 長	北 川 敏 男	65	九州大学名誉教授
副会長	廣 田 憲一郎	49	日本電信電話公社研究開発本部副本部長
”	守 田 敬太郎	59	東京芝浦電気(株)総合営業部兼電子計算機事業部技監
理 事	伊 吹 公 夫	42	日本電信電話公社武蔵野電気通信研究所基幹交換研究部調査役
”	石 崎 純 夫	44	(株)富士銀行業務管理部長代理
”	上 田 陸奥夫	49	社会保険庁年金保険部調査官
”	浦 昭 二	47	慶応義塾大学工学部教授
”	榎 本 肇	50	東京工業大学工学部教授
”	大 前 義 次	49	日本電信電話公社データ通信本部第一データ部調査役
”	落 合 進	47	鉄道技術研究所システム研究室長

理 事	佐 川 俊 一	44	日本国有鉄道電気局マルス担当調査役
”	嶋 村 和 也	47	三菱電機(株)計算機製作所ソフトウェア製造部長 兼計算機製造部長
”	中 川 一 郎	47	沖電気工業(株)ソフトウェア事業部技術管理部長
”	中 込 雪 男	52	国際電信電話(株)研究所副所長
”	萩 原 宏	48	京都大学工学部教授
”	福 島 邦 彦	39	NHK放送科学基礎研究所主任研究員
”	藤 田 献	42	日本ユニバック(株)金融システム開発室長, スタッフサイエンティスト
”	三 浦 武 雄	48	(株)日立製作所システム開発研究所長
”	柳 井 朗 人	50	(株)電通TSS局長
”	山 田 尚 勇	44	東京大学理学部教授
”	山 田 博	46	富士通(株)電子工業部開発事業部長
”	山 本 欣 子	47	(財)日本情報処理開発センター開発課長
”	渡 部 和	44	日本電気(株)情報処理小型システム営業本部長心得
監 事	中 村 一 郎	57	東京芝浦電気(株)産業用電算機事業部技師長
”	長 森 享 三	63	電気通信大学教授

5. 昭和50年度留・退任の役員氏名

○留任役員

役職名	氏 名	勤 務 先
副 会 長	猪 瀬 博	東 大
理 事	相 磯 秀 夫	慶 大
”	稲 田 伸 一	国 鉄
”	後 藤 英 一	東 大
”	鈴 木 錠 造	電 電
”	高 橋 延 匡	日 立
”	山 本 卓 真	富 士 通
監 事	海 宝 顕	日本IBM

○退任役員

役職名	氏 名	勤 務 先
会 長	尾 見 半左右	富 士 通
副 会 長	川 田 大 介	日 電
常務理事	高 島 堅 助	横 通
”	辻 岡 健	電 電
”	藤 中 恵	日 立
”	元 岡 達	東 大
理 事	長 尾 真	京 大

新年度会費納入について (お願い)

前号本欄にてお願いいたしましたように、学会の年度初頭の運営は、前納会費によっておりますので、50年度会費を本号とじ込みの振替用紙ご利用のうえ、来る3月31日までにご納入ください。

正 会 員 費 4,800 円

学生会員費 1,500 円 (大学院修士課程まで)

賛助会員費 30,000 円 (1口)

49年度会費未納の会員には、4月号から止むなく会誌「情報処理」の発送を停止させていただきますが、同4月号は「メイン・メモリ特集号」が編集されており、また5月号

には、50年度の9研究会(予定)の申込み、案内などを発表する予定になっておりますので、お含みおき願います。

IFIP 会長の講演会

来る3月24日～26日にIFIP理事会を東京で開催いたしますが、来日中の歴代会長(3人)の講演会を下記によって開きますので、ご来聴ください。(講演は英語、通訳なし
入場無料、会場の都合により、当日先着200名で打ち切らせていただきますので、お早目
にお出かけください。

日 時 50年3月27日(木) 13:30～17:00

場 所 機械振興会館 B2 ホール

1. IFIP の活動について

R. I. Tanaka (現会長)

2. ソフトウェアの哲学

H. Zemanek (前会長, ウィン大学教授, IBM ウィン研究所長)

3. 流体力学における計算機の応用

A. A. Dorodnicyn (前々会長, ソ連科学アカデミー会員)

第17回プログラミング・シンポジウム予告

第17回プログラミング・シンポジウムは、1976年1月8(木)、9(金)、10日(土)の3日間、例年のとおり、箱根彫刻の森ホテルで開催することにきまりました。研究発表申し込みおよび要旨送付の締切りは、8月末日の予定です。また、参加希望の受付は、11月に改めてご案内する予定です。その他詳細については、下記プログラミング・シンポジウム委員会へご照会ください。

なお、次回も宿題研究テーマは設けない予定です。発表にあたっては自由に話題をお選びください。また、本シンポジウム委員会では、このシンポジウムの意義を下記のように考えておりますので、その趣旨に沿って、発表および参加の準備をされるようお願いいたします。

記

- (1) 研究者・学生・メーカー・ユーザーなどの人々の共通の討論の場である。
- (2) 学術論文の発表の場ではない。
- (3) 未完成なものであっても、プログラミングの将来に大きな影響を与えそうなホットな話題が歓迎される。
- (4) シンポジウムというものの本来の意味のとおり、積極的に質問を受け、また討論に参加する心構えが必要である。

申込み・問い合わせ先: 〒160 東京都新宿区新宿 3-17-7 (紀伊国屋ビル5階)

慶応工学会内 プログラミング・シンポジウム委員会

電話 (03) 352-3609

講習会開催についてのアンケートのお願い

昭和 50 年度以降の講習会開催計画の参考として、会員の皆様のご希望を伺わせていただきたいと存じます。お手数でも下のアンケート用紙にご記入の上、4 月 30 日までに学会事務局にご返送ください。

〒105 東京都港区芝公園 3 丁目 5 番 8 号

機械振興会館 308-3 号室 (社)情報処理学会 企画運営委員会

..... 切 取 り 線

講習会開催についてのアンケート (回答)

1. 講習会のテーマとして何を希望されますか。

——次の項目の□の中に○印を入れてください。その他よいテーマ・案があれば□の中に書いてください。

(1) ハードウェアおよびアーキテクチャ関係

- ☐ a. アーキテクチャ (含ミニ・コンピュータ)
☐ b. コンピュータ・ネットワーク
☐ c. 入出力装置, 演算, 記憶部
☐ d. その他

(2) ソフトウェア関係

- ☐ a. プログラミング言語
☐ b. オペレーティング・システム
☐ c. データ・マネジメント
☐ d. ソフトウェア・テクノロジー
☐ e. 評価, シミュレーション
☐ f. 保守, 信頼性
☐ g. その他

(3) 数理関係

- ☐ a. アルゴリズム, 形式言語理論
☐ b. 数値演算
☐ c. 非数値演算
☐ d. 最適化法

☐ e. 情報検索, 自然言語

☐ f. その他

(4) 技術, 科学への応用

- ☐ a. プロセス制御
☐ b. パターン認識
☐ c. 人工知能
☐ d. グラフィックス
☐ e. デザイン・オートメーション
☐ f. マン・マシン・システム
☐ g. その他

(5) 社会, 人文, マネジメントへの応用

- ☐ a. システム理論
☐ b. シミュレーション, モデリング
☐ c. ファイル, データ・ベース
☐ d. 教育
☐ e. その他

(6) その他

2. 講習会の日程はどの位が適当ですか。

——次の項目の□の中に✓印を入れてください。

- ☐ a. 1 日 ☐ b. 2 日 (1 日半も含む). ☐ c. 3 日以上.

3. 講習会開催に関するご意見がありますか。

——ご意見がありましたら下の□の中に書いてください。